



ごあいさつ

一人一人を大切に 地域を愛する子どもを育てます

いつまでも寒いと思っていましたが、ようやく桜も咲き始め、令和6年度が始まりました。今年度は、全校児童54名でのスタートです。

昨年度は、コロナウイルス感染症が「第5類」になったということで、地区民運動会を始め様々な地域行事が再開し、地域の中で子ども達がお世話になる機会が増えました。また、学校行事もマスクを外して一堂に会することが増え、子ども達の笑顔をたくさん見ることができました。今年度は更に多くの保護者の皆様、地域の皆様に子ども達に関わっていただき、ますます活気ある来見小学校にしていきたいと思っております。本年度も本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本校は、「伸びよう つなごう おこそう」という校訓のもとに、めざす児童像を〈「地域を愛する来見の子」星の子・太陽の子・風の子〉と表現しています。今年度も、この児童像を子供たち自身が意識して日々過ごすよう、具体の姿を短い言葉で繰り返し表現していこうと思っております。

- 星の子：自分で考え、みんなといっしょに勉強する子
- 太陽の子：笑顔いっぱいやさしい子
- 風の子：元気でチャレンジする子



そして、本年度のキーワードは、「**決める**」です。

昨年度、一昨年度と2年間、子ども達も先生達もキーワード「チャレンジ」を意識して、学習だけでなく日々の様々な活動を行ったところ、子ども達の行動や表情、気持ちが少しずつ変わり、自ら行動しようとする子が増えてきました。しかし、まだまだ、あと一歩が踏み出せなかったり、すぐに先生に頼ったり、継続して頑張れなかったりする児童がいることも事実です。コロナウイルス感染症が急に出てきて対策を講じなければならなかったように、これから先、急な変化に対応しなければならないことがどんどん出てくるであろう社会の中で、自分らしくたくましく生きていくために、子どもたちに「自己決定する力」を付けたいと思っております。そのために、今年度は、子ども達が「決める」場面をたくさんつくっていきます。自分の好き勝手に決めるのではなく、友達と協働して決める、先生と相談して決める、本で調べて決めるなど、「よりよく決める」ことができるように、子ども達をサポートしていきたいと思っております。

学校全体に活気があふれ、笑顔いっぱいの1年になるよう、職員一同、誠心誠意、教育活動に邁進してまいります。忌憚のないご意見や感想をお寄せ下さいますようお願い致します。

来見小学校 校長 藤井 裕子

